

浜の活力再生プラン

1 地域水産業再生委員会

組織名	紀南地域水産業再生委員会
代表者名	佐田 美知夫

再生委員会の構成員	紀南漁業協同組合、御浜町、紀宝町
オブザーバー	三重県

対象となる地域の範囲及び漁業の種類	<p>○対象地域：紀南地域(御浜町及び紀宝町の2町)</p> <p>○対象漁業種類：大型定置網漁業(1経営体)、刺し網漁業(20経営体)、一本釣漁業(49経営体)、海女漁業(12経営体)、その他の漁業(2経営体)</p> <p style="text-align: right;">合計65経営体(兼業あり)</p>
-------------------	--

2 地域の現状

(1) 関連する水産業を取り巻く現状等

紀南地域は、熊野川を隔て和歌山県新宮市に隣接する三重県最南端に位置し、2町(御浜町及び紀宝町)にまたがり、阿田和地区(御浜町)、井田地区及び鵜殿地区(紀宝町)の3つの漁業地区から構成されている。

当地域では、黒潮が流れる熊野灘を漁場として、大型定置網漁業、刺し網漁業、一本釣漁業等が営まれており、特に、大型定置網漁業は水揚げ金額の7割程度を占める主要漁業となっている。なお、当地域の水揚げは、2町内に漁港を有しないことから、鵜殿地区(紀宝町)の鵜殿港(地方港湾)のみとなっており、市場機能も鵜殿港に集約されている。

近年、水揚げ量の減少や魚価の低迷等の影響による水揚げ金額の減少や漁業資材の高騰等により、当地域の漁家経営は非常に厳しい状況下にある。こうした背景により、漁業者の高齢化や担い手の不足等により、地域水産業の活力は衰退傾向となっている。

(2) その他の関連する現状等

地元農林水産物などを生産者が直接販売する「紀の宝みなと市」(毎月第2土曜日開催の定期市)や、地元紀宝町の「見る・遊ぶ・食べる・買う」を満喫できる町の一大イベント「紀宝みなとフェスティバル」(毎年10月)が開催されるなど、地元への集客・交流に向けた取組が進められている。

また、当地域は大都市圏への交通アクセスが非常に悪かったが、熊野市北部と尾鷲市南部を結ぶ熊野尾鷲道路などの開通により、一部区間を除き、首都圏までの高速道路網が整備されたことから交通アクセスが格段に良くなり、人や物流の移動時間短縮やそれに伴う輸送コスト低減等が図られている。併せて、大雨災害時等の一般道通行止めがもたらす輸送遅延リスクの解消により、首都圏等の取引先からの信頼度が向上し、販路拡大に繋がっている等、流通や販路体制に大きな変化が現れている。なお、当地域と和歌山県新宮市北部を結ぶ、新宮紀宝道路も事業着手されており、今後、和歌山・大阪等関西圏への交通アクセス向上も期待されている。

3 活性化の取組方針

(1) 基本方針

1. 漁業収入向上に向けて

【1】水産資源の維持・増大に向けた取組

- ・イセエビ等の地先資源の維持・増大を図るため、イセエビ等を対象とした築いそ等の漁場造成に努めるとともに、サザエ、マダイの種苗放流を行う。また、市場単価が高い新たな放流種苗（トラフグ等）の導入を検討し、その放流に努める。
- ・三重県資源管理指針に基づき策定した伊勢湾口・熊野灘海域における定置網漁業及び井田地区地先海域における刺し網漁業の資源管理計画の取組を遵守し、水産資源の維持・増大を図るとともに、イセエビ資源の持続的利用に向け、阿田和地区において、イセエビ等を対象とした刺し網漁業の資源管理計画の策定とその実践に取り組む。

【2】担い手確保の取組

- ・県内外から新たな担い手を持続的に受け入れていけるよう、主に定置網漁業への就業をめざす「紀南漁師塾」を立ち上げ、若者等が水産業に就業しやすい環境整備に取り組む。
※「漁師塾」：若者等の水産業への就労・就業を促進するため、漁業技術の研修等を通じて人材育成や就業支援を行う、漁協が開設する育成機関。現在、県内では4地区で漁師塾が活動しており、これまで4年間で11名が地元就業。
- ・地域内における将来の担い手の確保・育成を図るため、中学生を対象とした漁業体験の実施に取り組む。

【3】魚食普及、流通・販路開拓、地域水産物PRの取組

- ・毎月第2土曜日開催の「紀の宝みなと市」及び毎年10月開催の「紀宝フェスティバル」において、鮮魚や水産物加工品（アジ、イワシの干物等）を販売し、魚食普及や消費拡大に取り組む。
- ・漁業者自らが水産物加工（イセエビ、アマダイ等の冷凍加工）や販売に携わり、料理店などへ直売する6次産業化に取り組む。
- ・ふるさと納税の返礼品としてイセエビを全国各地に送るなど、当地域の水産物のPRに取り組む。

【4】紀南漁業協同組合地方卸売市場における衛生管理の取組

- ・安全安心な水産物を消費者に提供し、地域水産物のイメージアップや付加価値向上を図るため、市場入場時の手洗い・長靴消毒、市場内での禁煙徹底、水産物の直置き禁止、防鳥ネット設置等に取り組む。

2. 漁業コスト削減に向けて

【1】省エネ型機器の導入、燃油削減の取組

- ・操業コストの削減、操業の効率化・省力化を図るため、省エネ機器等の導入に取り組む。
- ・燃料消費量を削減するため、定期的な船底清掃、減速走行の遵守、積載物の軽量化に取り組む。

(2) 漁獲努力量の削減・維持及びその効果に関する担保措置

- ・漁業法、三重県漁業調整規則などの漁業関係法令の遵守
- ・三重県資源管理指針に基づく資源管理計画の遵守

(3) 具体的な取組内容 (毎年ごとに数値目標とともに記載)

1年目 (平成30年度)

漁業収入向上 のための取組	以下の取組により、漁業所得を基準年比0.2%向上させる。 ① 市場単価が高いイセエビ等の地先資源の維持・増大を図るため、築いそ等の漁場造成に努める。 ② 地先資源の維持・増大を図るため、サザエ、マダイの種苗放流を行うとともに、市場単価が高い新たな放流種苗 (トラフグ等) の導入を検討する。 ③ 三重県資源管理指針に基づき策定した伊勢湾口・熊野灘海域における定置網漁業及び井田地区地先海域における刺し網漁業の資源管理計画を遵守し、資源管理の徹底に努める。また、イセエビ資源の持続的利用に向け、阿田和地区地先海域における刺し網漁業の資源管理計画の策定を検討する。 ④ 新たな担い手確保の取組として、県内外から新たな担い手を持続的に受け入れていけるよう「紀南漁師塾」を立ち上げ、漁業短期研修の実施を検討する。 ⑤ 地域内における将来の担い手を確保・育成するため、中学生を対象とした漁業体験を実施する。 ⑥ 毎月第2土曜日開催の「紀の宝みなと市」及び毎年10月開催の「紀宝フェスティバル」において、鮮魚や水産物加工品を販売し、魚食普及、消費の拡大を図る。 ⑦ 6次産業化の取組を推進するため、水産物冷凍加工品の開発に取り組み、展示会へのブース出展、料理店等への営業活動を行い、取引先との関係を築く。 ⑧ ふるさと納税返礼品として全国各地の納税者にイセエビを送り、当地域水産物のPRをするとともに、よりPR効果を高めるためにパンフレット同封等を検討する。 ⑨ 地域水産物のイメージアップや付加価値向上を図るため、市場入場時の手洗い・長靴消毒、市場内での禁煙徹底、水産物の直置き禁止、防鳥ネット設置等の衛生管理の取組を検討する。
漁業コスト削減 のための取組	以下の取組により、漁業コストを基準年比0.1%削減させる。 ⑩ 操業コストの削減、操業の効率化・省力化を図るため、省エネ機器等の導入を推進する。 ⑪ 燃料消費量を削減するため、定期的な船底清掃、減速走行の遵守、積載物の軽量化に努める。
活用する支援 措置等	浜の活力再生交付金 (①) 県単沿岸漁場整備事業 (①) 漁業収入安定対策事業 (③) 漁業振興対策事業 (⑨) 競争力強化型機器等導入緊急対策事業 (⑩)

2年目（平成31年度）

<p>漁業収入向上のための取組</p>	<p>以下の取組により、漁業所得を基準年比1.1%向上させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 市場単価が高いイセエビ等の地先資源の維持・増大を図るため、築いそ等の漁場造成に努める。 ② 地先資源の維持・増大を図るため、サザエ、マダイの種苗放流を行うとともに、市場単価が高いトラフグ等の種苗放流に努める。 ③ 三重県資源管理指針に基づき策定した伊勢湾口・熊野灘海域における定置網漁業及び井田地区地先海域における刺し網漁業の資源管理計画を遵守し、資源管理の徹底に努める。また、イセエビ資源の持続的利用に向け、阿田和地区地先海域における刺し網漁業の資源管理計画を策定する。 ④ 新たな担い手確保の取組として、前年度に立ち上げた「紀南漁師塾」主催の漁業短期研修を実施するとともに、研修後に希望者がスムーズに就業できるよう、住居紹介や漁業知識・技術の習得支援などのサポートを行う。 ⑤ 地域内における将来の担い手を確保・育成するため、中学生を対象とした漁業体験を実施する。 ⑥ 毎月第2土曜日開催の「紀の宝みなと市」及び毎年10月開催の「紀宝フェスティバル」において、鮮魚や水産物加工品を販売し、魚食普及、消費の拡大を図る。 ⑦ 6次産業化の取組を推進するため、引き続き水産物冷凍加工品の開発に取り組み、展示会へのブース出展、料理店等への営業活動を行い、取引先との関係を築く。 ⑧ ふるさと納税返礼品として全国各地の納税者にイセエビを送り、当地域水産物をPRするとともに、よりPR効果を高めるためにパンフレット同封等を実施する。 ⑨ 地域水産物のイメージアップや付加価値向上を図るため、市場入場時の手洗い・長靴消毒、市場内での禁煙徹底、水産物の直置き禁止、防鳥ネット設置等、衛生管理の取組を推進する。
<p>漁業コスト削減のための取組</p>	<p>以下の取組により、漁業コストを基準年比0.1%削減させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ⑩ 操業コストの削減、操業の効率化・省力化を図るため、省エネ機器等の導入を推進する。 ⑪ 燃料消費量を削減するため、定期的な船底清掃、減速走行の遵守、積載物の軽量化に努める。
<p>活用する支援措置等</p>	<p> 浜の活力再生交付金（①） 県単沿岸漁場整備事業（①） 漁業収入安定対策事業（③） 漁業振興対策事業（⑨） 競争力強化型機器等導入緊急対策事業（⑩） </p>

3年目（平成32年度）

<p>漁業収入向上のための取組</p>	<p>以下の取組により、漁業所得を基準年比3.4%向上させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 市場単価が高いイセエビ等の地先資源の維持・増大を図るため、築いそ等の漁場造成に努める。 ② 地先資源の維持・増大を図るため、サザエ、マダイの種苗放流を行うとともに、市場単価が高いトラフグ等の種苗放流に努める。 ③ 三重県資源管理指針に基づき策定した伊勢湾口・熊野灘海域における定置網漁業及び井田地区地先海域における刺し網漁業の資源管理計画を遵守し、資源管理の徹底に努める。また、策定した阿田和地区地先海域における刺し網漁業の資源管理計画を遵守し、イセエビ資源の持続的利用を図る。 ④ 新たな担い手確保の取組として、「紀南漁師塾」主催の漁業短期研修を実施するとともに、研修後、希望者がスムーズに就業できるよう、住居紹介や漁業知識・技術の習得支援などのサポートを行う。 ⑤ 地域内における将来の担い手を確保・育成するため、中学生を対象とした漁業体験を実施する。 ⑥ 毎月第2土曜日開催の「紀の宝みなと市」及び毎年10月開催の「紀宝フェスティバル」において、鮮魚や水産物加工品を販売し、魚食普及、消費の拡大を図る。 ⑦ 6次産業化の取組を推進するため、これまで関係を築いた取引先を中心に開発した水産物冷凍加工品の販促活動を積極的に行い、販路拡大を図る。 ⑧ ふるさと納税返礼品として全国各地の納税者にイセエビを送り、当地域水産物をPRするとともに、よりPR効果を高めるためにパンフレット同封等を実施する。 ⑨ 地域水産物のイメージアップや付加価値向上を図るため、市場入場時の手洗い・長靴消毒、市場内での禁煙徹底、水産物の直置き禁止、防鳥ネット設置等、衛生管理の取組を推進する。
<p>漁業コスト削減のための取組</p>	<p>以下の取組により、漁業コストを基準年比0.2%削減させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ⑩ 操業コストの削減、操業の効率化・省力化を図るため、省エネ機器等の導入を推進する。 ⑪ 燃料消費量を削減するため、定期的な船底清掃、減速走行の遵守、積載物の軽量化に努める。
<p>活用する支援措置等</p>	<p>浜の活力再生交付金（①） 県単沿岸漁場整備事業（①） 漁業収入安定対策事業（③） 漁業振興対策事業（⑨） 競争力強化型機器等導入緊急対策事業（⑩）</p>

4年目（平成33年度）

<p>漁業収入向上のための取組</p>	<p>以下の取組により、漁業所得を基準年比6.8%向上させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 市場単価が高いイセエビ等の地先資源の維持・増大を図るため、築いそ等の漁場造成に努める。 ② 地先資源の維持・増大を図るため、サザエ、マダイの種苗放流を行うとともに、市場単価が高いトラフグ等の種苗放流に努める。 ③ 三重県資源管理指針に基づき策定した伊勢湾口・熊野灘海域における定置網漁業、井田地区地先海域における刺し網漁業及び阿田和地区地先海域における刺し網漁業の資源管理計画を遵守し、資源管理の徹底に努める。 ④ 新たな担い手確保の取組として、「紀南漁師塾」主催の漁業短期研修を実施するとともに、研修後、希望者がスムーズに就業できるよう、住居紹介や漁業知識・技術の習得支援などのサポートを行う。 ⑤ 地域内における将来の担い手を確保・育成するため、中学生を対象とした漁業体験を実施する。 ⑥ 毎月第2土曜日開催の「紀の宝みなと市」及び毎年10月開催の「紀宝フェスティバル」において、鮮魚や水産物加工品を販売し、魚食普及、消費の拡大を図る。 ⑦ 6次産業化の取組を推進するため、これまで関係を築いた取引先を中心に開発した水産物冷凍加工品の販促活動を積極的に行い、販路拡大を図る。 ⑧ ふるさと納税返礼品として全国各地の納税者にイセエビを送り、当地域水産物をPRするとともに、よりPR効果を高めるためにパンフレット同封等を実施する。 ⑨ 地域水産物のイメージアップや付加価値向上を図るため、市場入場時の手洗い・長靴消毒、市場内での禁煙徹底、水産物の直置き禁止、防鳥ネット設置等、衛生管理の取組を推進する。
<p>漁業コスト削減のための取組</p>	<p>以下の取組により、漁業コストを基準年比0.2%削減させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ⑩ 操業コストの削減、操業の効率化・省力化を図るため、省エネ機器等の導入を推進する。 ⑪ 燃料消費量を削減するため、定期的な船底清掃、減速走行の遵守、積載物の軽量化に努める。
<p>活用する支援措置等</p>	<p>浜の活力再生交付金（①） 県単沿岸漁場整備事業（①） 漁業収入安定対策事業（③） 漁業振興対策事業（⑨） 競争力強化型機器等導入緊急対策事業（⑩）</p>

5年目（平成34年度）

<p>漁業収入向上のための取組</p>	<p>以下の取組により、漁業所得を基準年比9.8%向上させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 市場単価が高いイセエビ等の地先資源の維持・増大を図るため、築いそ等の漁場造成に努める。 ② 地先資源の維持・増大を図るため、サザエ、マダイの種苗放流を行うとともに、市場単価が高いトラフグ等の種苗放流に努める。 ③ 三重県資源管理指針に基づき策定した伊勢湾口・熊野灘海域における定置網漁業、井田地区地先海域における刺し網漁業、阿田和地区地先海域における刺し網漁業の資源管理計画を遵守し、資源管理の徹底に努める。 ④ 新たな担い手確保の取組として、「紀南漁師塾」主催の漁業短期研修を実施するとともに、研修後、希望者がスムーズに就業できるよう、住居紹介や漁業知識・技術の習得支援などのサポートを行う。 ⑤ 地域内における将来の担い手を確保・育成するため、中学生を対象とした漁業体験を実施する。 ⑥ 毎月第2土曜日開催の「紀の宝みなと市」及び毎年10月開催の「紀宝フェスティバル」において、鮮魚や水産物加工品を販売し、魚食普及、消費の拡大を図る。 ⑦ 6次産業化の取組を推進するため、これまで関係を築いた取引先を中心に開発した水産物冷凍加工品の販促活動を積極的に行い、販路拡大を図る。 ⑧ ふるさと納税返礼品として全国各地の納税者にイセエビを送り、当地域水産物をPRするとともに、よりPR効果を高めるためにパンフレット同封等を実施する。 ⑨ 地域水産物のイメージアップや付加価値向上を図るため、市場入場時の手洗い・長靴消毒、市場内での禁煙徹底、水産物の直置き禁止、防鳥ネット設置等、衛生管理の取組を推進する。
<p>漁業コスト削減のための取組</p>	<p>以下の取組により、漁業コストを基準年比0.3%削減させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ⑩ 操業コストの削減、操業の効率化・省力化を図るため、省エネ機器等の導入を推進する。 ⑪ 燃料消費量を削減するため、定期的な船底清掃、減速走行の遵守、積載物の軽量化に努める。
<p>活用する支援措置等</p>	<p>浜の活力再生交付金（①） 県単沿岸漁場整備事業（①） 漁業収入安定対策事業（③） 漁業振興対策事業（⑨） 競争力強化型機器等導入緊急対策事業（⑩）</p>

（4）関係機関との連携

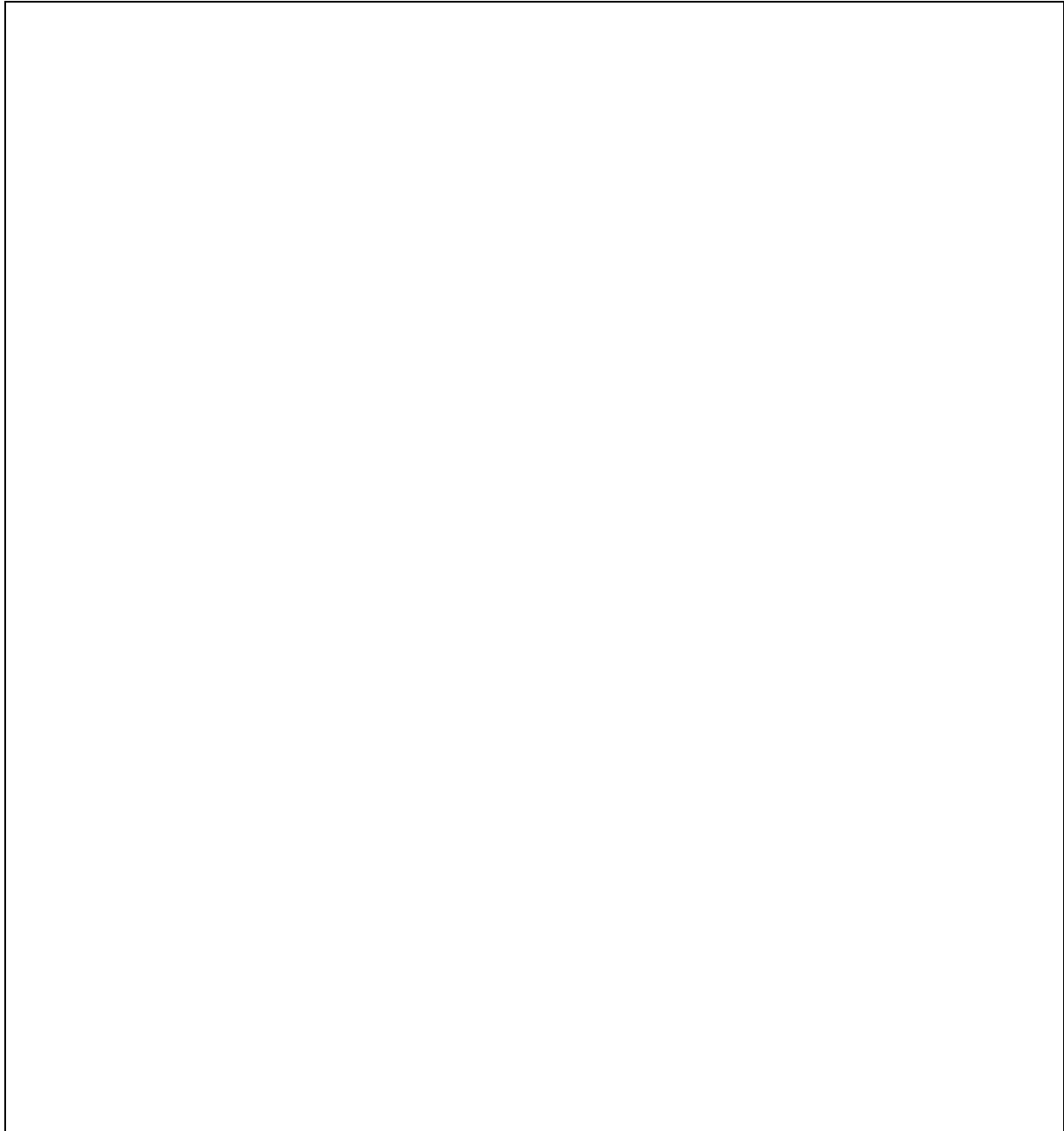
行政（御浜町、紀宝町、三重県）、三重県漁業協同組合連合会等水産関係団体及び公益財団法人三重県農林水産支援センターなどの関係機関と情報共有を図りながら連携して取組を進める。

4 目標

（1）数値目標

<p>漁業所得の向上 10.1%以上</p>	<p>基準年</p>	<p>平成29年度：漁業所得 円</p>
	<p>目標年</p>	<p>平成34年度：漁業所得 円</p>

(2) 上記の算出方法及びその妥当性 (65 経営体)



5 関連施策

活用を予定している関連施策名とその内容及びプランとの関係性

事業名	事業内容及び浜の活力再生プランとの関係性
浜の活力再生交付金（国）	築いそ等の漁場造成
県単沿岸漁場整備事業（県）	築いそ等の漁場造成
漁業収入安定対策事業（国）	漁業共済・積立ふらすを活用し、資源管理の取組支援
漁業振興対策事業（町）	市場の衛生化にかかる取組支援。
競争力強化型機器等導入緊急対策事業（国）	省エネ型機器等の導入推進